

調査相談(レファレンス)事例紹介 25



Question

明治2(1869)年、イタリアの公使が日本の養蚕状況を視察に上州へ来たと聞きました。その時のことを知りたいです。



Answer

視察に来たのは、初代イタリア公使ドゥ・ラ・トゥール伯爵一行です。当時、西洋では蚕の伝染病が蔓延し、絹の生産高は著しく落ち込んでいました。そこでイタリアは、蚕種の品質が極めて高く評価されていた日本、その中でも蚕種の最大の生産地である上州の養蚕事情の視察を希望しました。このような日本内地の公式な視察は、全国で初めてのことでした。

一行は横浜を出発して、…-島村-前橋-伊香保-高崎-藤岡-鬼石…など、約1か月かけて養蚕地帯を視察しました。島村では田島弥平(1822-1898。養蚕法のひとつである清涼育を確立し、宮中蚕所での技術指導も行う。養蚕業の貢献により、緑綬褒章を受章)の蚕室を見学し、前橋では、八幡宮や神明宮を訪れ、“中村や”という製糸場を見学しています。

一行は、行く先々で最大限のもてなしを受けたそうです。前橋では、一行全員分の欧米式のベッドやテーブル、椅子が用意されました。これは今回の視察を迎えるにあたって製造されたものでした。皿やグラスなど、ヨーロッパの生活に欠かせない物品もほぼ備えられていたそうです。視察の記録には、村人たちも含め、道中に出会う日本人はみな、階級に関わらず温和で上品な物腰だったと書かれています。

この視察に記録係として同行したピエトロ・サヴィオは、旅の全行程を書き留めたものを旅行記(参考文献①。当館所蔵資料は第3版)として発表しました。銅板画による挿絵も多く、当時の雰囲気を感じ取ることができる貴重な資料です。この旅行記は視察の翌年にミラノで刊行され、大反響を呼びました。

※文中参考文献の番号は、下記参考文献表の番号と一致しています。



参考文献

書名	責任表示	出版社	出版年	資料コード
① La prima spedizione Italiana nell'interno del Giappone e nei centri sericoli effettuatasi nel mese di giugno dell'anno 1869 da Sua Eccellenza il conte de La Tour 第3版	Pietro Savio/著	Fratelli Treves	1877	17079450
② 製糸の都市前橋を築いた人々	前橋商工会議所/編	上毛新聞社事業局出版部	1992	12567673
③ イタリア伯爵糸の町を往く	富澤 秀機/著	上毛新聞社事業局出版部	2018	12543088
④ 日伊文化史考	吉浦 盛純/著	イタリア書房出版部	1968	所蔵なし

※資料④は国立国会図書館デジタルコレクションで閲覧できます

今回ご紹介した他にも調査相談(レファレンス)事例をホームページに多数ご紹介しています。

【群馬県立図書館ホームページ>調査相談>調査相談事例・郷土人物データベース】

お問い合わせ：群馬県立図書館 〒371-0017 前橋市日吉町1丁目9-1 電話：027-231-3008